



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

令和6年度 第3号(令和6年6月発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 三原 聖子

佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



高校総体、農業クラブ県連発表大会が終わりました。本番はいかがでしたか。これまでの練習や研究の成果を発揮し、充実した満足感を味わったことでしょう。3年生は次は就職試験に向けて、己と戦う日々が本格的に始まります。日々、小さな勝利を挙げながら、進みましょう。

令和6年度 佐賀県高校総体

(A科:農業科学科、E科:環境工学科)

第62回佐賀県高等学校総合体育大会が5月24日(金)から28日(火)の日程で開催され、県内各所で競技が行われました。SAGA アリーナでの総合開会式では、本校を代表して生徒会役員と男子ソフトテニス部の生徒10名が「創立130周年を迎えます」と書かれた横断幕を掲げ、堂々と行進しました。

サッカー

点を取りあぐねていた2回戦。残り時間10分で、小野恭平さん(E3・白石中)がコーナーキックを受けたボールをうまくゴールに押し込んで先制点を挙げました。それに勢いづいたチームは続いて光武涼馬さん(A3・鹿島東部中)がゴールを決め、一気に勝負がつきました。小野さんは試合を振り返って、「2回戦は、前半は0対0で、なかなか点が入りませんでした。時間もなくて焦っていたのですが、皆最後まで集中して諦めずに闘ったところが良かったです。準々決勝の佐賀学園戦では、繋ぐサッカーではなく蹴り合いになってしまい、自分たちの持ち味が出せませんでした。目標としていたベスト4が達成できず、悔しいです」と話してくれました。「佐賀学園は総体前のリーグ戦で戦い、次は勝てると手応えを感じていたのですが、だめでした。11月の選手権では自分たちが得意なドリブルやポゼッションの精度をもっと上げて臨みたいです」とはキャプテンの島村桜佑さん(E3・嬉野中)の弁です。

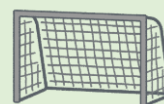


ハンドボール女子

大会1週間前に選手がコロナに感染するピンチに陥った女子ハンドボールチーム。出席停止が明けるのは試合後で、試合の本番に間に合わないことになりました。その穴を埋めるのは、入学して2ヶ月足らずの、初心者^{はるか}の1年生しかいませんでした。キャプテンの武富遥風さん(A3・武雄中)は、「1年間やってきたさまざまなコンビネーションプレーはできない状況になりました。1年生は経験がなく、練習する時間ありませんでしたが、セットプレーだけを仕込み、本番はうまく決まりました。試合では普段とは違って声援を送ってくれる人がいました。嬉しくてプレーするのが楽しかったです」と話してくれました。

ハンドボール男子

木室和斗さん(A2・白石中)は2年生ながらも優秀選手賞を受賞しました。試合の時にどんなことに注意していたのかを尋ねました。「ピンチの時にしっかりディフェンスすることです。相手がどんな動きをするか予測して、ボールを持つ人の体を抱えるようにして動きを止めました。間を抜かれないよう、もっとボールに寄ってディフェンスしたい。清明は自分たちより一段上のスピード感で、ディフェンスも強かったです」。キャプテンの藤井琢磨さん(A3・白石中)は大会を振り返って「緊張してディフェンスが練習通りにできませんでしたが、ミスしてもベンチが声を出してくれて、諦めずに闘うことができました。でも九州大会に行きたかったの^{よしと}でこの結果は悔しいです」と話していました。



バスケットボール

昨年のバスケットボール部は50点を目標に戦い、達成しましたが、今年はなんと100点超え。普段なら勝ちが決まった状況で、選手を交代して下級生が経験を積めるようにしているそうですが、今回は100点が目前に迫っていました。「交代するか、このまま続けるか?」と尋ねた監督の池田益規先生への答えは「100点を取りたいです」。キャプテンの熊川海音さん(A3・山内中^{かいと})は「この日は全員が自分のやるべきことをやっていました。チームの連携がよくて、パスがおもしろいほど繋がりました。うきうきと心が躍るような、楽しくてたまらない試合でした」。このキャプテンの言葉からチーム全体の高揚感が伝わってきます。池田先生も、「選手全員にドラマがあった」とおっしゃっていました。



陸上競技部

キャプテンの陣内こころさん(A3・東原彦舎西溪)は、中学校では総合文化部に所属し、琴を弾いたり、手芸や美術に取り組んだり運動にはあまり縁がない生活をしていましたが、高校入学を機に陸上競技を始めました。「栗山先生のトレーニングはきついけれど楽しかったです。基礎練で



自分ができないところを鍛えられて、最初はいろいろなところが痛くなりました。100mでも 200mでも自己ベストがでて、1秒くらいのタイムが縮まり嬉しかったです」。



壮行式で選手宣誓をする陣内さん。

県高校総体の結果

◆柔道 男子	個人 60kg級	● 鳥栖工	◆サッカー	1回戦	○ 5-0	多久
	個人 66kg級	● 佐賀北		2回戦	○ 2-0	小城
	〃	● 鳥栖工	ベスト8	準々決勝	● 1-2	佐賀学園
◆剣道 女子	団体	● 0-4 敬徳	◆卓球 男子	団体	1回戦	○ 3-0 唐津工
男子	団体	● 1-2 早稲田佐賀		2回戦	● 0-3 鳥栖工	
◆ハンドボール			女子	団体	1回戦	● 0-3 武雄
男子	第3位	1回戦 ● 22-38 神埼清明	◆ソフトテニス			
		5位決定戦 ○ 27-17 佐賀西	男子	団体	1回戦	○ 3-0 厳木
		3位決定戦 ○ 24-20 佐賀東		2回戦	● 0-3 佐賀工	
女子	第3位	1回戦 ● 9-44 佐賀清和	女子	団体	1回戦	● 1-2 唐津西
		3位決定戦 ○ 30-18 佐賀女子	◆バレーボール	1回戦	● 1-2 武雄	
◆バスケットボール	1回戦	○ 106-45 北陵	◆陸上	出場種目	男子100m/200m・女子100m/200m	
	2回戦	● 36-109 唐津工			男子走幅跳/砲丸投/やり投/円盤投	

2年生カフェデビュー（食品科学科2年）

5月30日(木)11時、食品科学実習棟2階の実習室で校内カフェ・サノボヌールが店開きました。これは食品科学科2年生が、7月に予定されている校外での高校生ケーキカフェの予行練習として、職員を対象に接客の練習をするためのものです。シュークリーム、ガトーショコラ、ロールケーキの3種のお菓子とコーヒーなどの飲み物を用意し、来店者が現れるたびに「いらっしゃいませ」と高らかな挨拶が響き渡りました。



初めてのカフェの後、感想を聞きました。「喜んでもらえたので嬉しかったです」、



「初めてのことばかりで新鮮でした」、「練習はうまくできましたが、本番では敬語とか言葉が出てきませんでした」。また、お菓子もいつもより一層念入りに作りました。「ロスが出ないように丁寧に切ったり、クリームを詰めたりしました」、「焼き時間にボウルなどの洗い物をして手際よく進めました」。店長の山本加奈さん(多良中)は「いつもと言葉遣いが違うので、最初はとても緊張しましたが、意外と早く慣れました」と頼もしく、道の駅しろいしで開くカフェについて、「F2らしい元気さで明るいお店にして、お客様に笑顔で帰ってもらいたいです」と意気込みを語ってくれました。

7月行事予定

1日 (月) 求人票受付開始	22日 (月) 3年進路対策特課①(面接指導会)
3日 (水) クラスマッチ	23日 (火) 3年進路対策特課②
5日 (金) 暴力団排除教室	フラワーアレンジメント競技
第1回漢字検定 PTA評議員会	24日 (水) 3年進路対策特課③
8日 (月) スクールカウンセラー来校日	農業鑑定競技 九連リーダー研修会(～25日)
11日 (木) 三者面談(～18日)	25日 (木) 3年進路対策特課④
進路ガイダンス(3年)	平板測量競技 家畜審査競技
12日 (金) 薬物乱用防止教室	26日 (金) 3年進路対策特課⑤
13日 (土) 食物調理技術検定	29日 (月) 3年進路対策特課⑥
17日 (水) 防災避難訓練	30日 (火) 3年進路対策特課⑦
19日 (金) 終業式	31日 (水) 全校登校日

編集後記 昔は部活動の大会は少なく、春と秋に1回ずつでした。総体が夏のインターハイに続くことも知らなければ、壮行会が何かも私はわかっていませんでした。ただチームの黒に細い黄色のラインが入ったジャージを着て行進しました。オーケストラ部の金管楽器が奏でたロサンゼルスオリンピックのファンファーレがとてもかっこよく、忘れ得ぬこととして残っています。 K